

《担当者名》百々 尚美 (ndodo@hoku-iryo-u.ac.jp)

【概要】

生理心理学に関連した最新の研究領域の知見を深め、課題研究へ進め、博士論文の完成を目指す。具体的には研究テーマに関して、先行研究の詳読、作業仮説の作成、研究計画、方法（研究協力者、臨床現場、装置など）、データの分析法、考察、文献リスト作成などを指導し、学術雑誌に投稿する論文作成を指導する。

【学修目標】

様々な行動問題、臨床心理学的問題を理解するための一つの観点として、生理心理学的視点を見に着け、活用することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	受講者の研究背景についての発表、この授業についての説明	百々 尚美
2~4	テーマの選択	・この授業で対象とする臨床心理学的問題の決定 ・最新の論文の選定	百々 尚美
5~15	ディスカッション	・論文の要約発表 ・論文内容についてのディスカッション ・関連する生理心理学的知見の開設	百々 尚美

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

授業における参加姿勢、ディスカッションの内容を基に総合的に評価する。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

授業内で適宜指示する。

【備考】

授業資料の配布はGoogle Classroomを利用して学習課題を呈示する。

【学修の準備】

予習（60～90分）：生理心理学に関連する最新の研究領域に係る知見を広げておくこと。

復習（30分～60分）：学習内容を自分の言葉でまとめること。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、臨床現場、教育・研究領域において必要な指導的能力と研究能力を修得し、人の尊厳を重んじて社会に貢献できる能力を修得するという臨床心理学専攻博士後期課程のディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

公認心理師の有資格者が行う。

【実務経験を活かした教育内容】

公認心理師としての医療・福祉・教育での実務経験を活かし、臨床・研究の成果を反映させた講義内容となっている。